



TITLE:

静脩 Vol. 50 No. 3(2013.10)[全文]

AUTHOR(S):

CITATION:

静脩 Vol. 50 No. 3(2013.10)[全文]. 静脩 2013, 50(3)

ISSUE DATE:

2013-10-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/179324>

RIGHT:

静脩

SEI-SHU

特集

MyKULINE

新着アラート・ブックマーク

CONTENTS:

- 02 特集: MyKULINE 新着アラート・ブックマーク
- 04 図書館・室紹介: 人文科学研究所
附属東アジア人文情報学研究センター図書室
- 05 大型コレクション紹介
- 06 前期イベント報告: 図書館機構スタンプラリー“Library Walk”
- 07 図書館機構貴重書公開展示「博物学の世界」／新サービス紹介 EDDS
- 08 図書館・室からのお知らせ

2013.10
Vol.50 No.3



例えば・・・

借りている資料の情報を画面で
確認、貸出期間の更新ができます



例えば・・・

予約している資料の状態を確認、
取り消しも可能です



と、様々な機能があります

今回はその中から **新着アラート** と **ブックマーク** をご紹介します！

毎度毎度、新着コーナーを見るのが大変だな～

この分野の本が入ったらすぐ読みたいのだけれど・・・

そんな時は

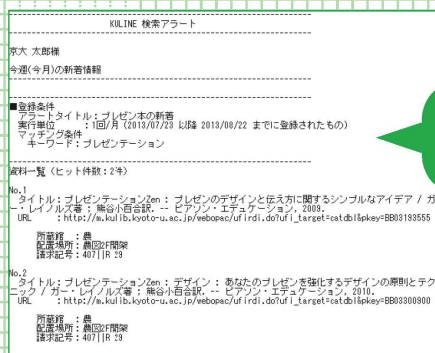
新着アラート

気になるキーワード等を登録しておく
と各図書館・室に該当する資料が入ったら



登録は簡単！

こんな風にメール
で教えてくれます



1 新規登録

まずは「新着アラート」タブの「新規登録」ボタンをクリック

2 マッチング条件の設定

キーワード・タイトル・著者名だけでなく、資料の種類や所蔵館など様々な条件を設定することができます

3 メール配信設定

条件に合った資料が図書館・室に入ったら、知らせてくれるメール配信の設定を行います メール の件名や頻度、メールの種類などを選択できます

4 検索アラートの登録

「確認」ボタンをクリックし、確認画面で「決定」ボタンを押下

この他に、ある雑誌の最新号が図書館/室に届いたら知らせてくれる「雑誌アラート」という機能もあります

詳しくは、KULINE＞図書館を使う＞資料の探し方ガイド＞利用案内＞MyKULINEの使い方（新着アラート・マイフォルダ編）をご覧ください

各書名をクリックするとKULINEの
[書誌詳細]画面へリンクしています
ので、所蔵館や配置場所、請求記号、
貸出状態がすぐに確認できます

[MyKULINE ▼]のプルダウンメニューから[ブックマーク]のリンクをクリック



人文科学研究所

附属 東アジア人文情報学研究センター図書室

Center for Informatics in East Asian Studies,
Institute for Research in Humanities



東アジア人文情報学研究センターは、当初東洋学文献センターとして1965年4月に発足し、2000年4月には漢字情報研究センターに改組され、さらに人文学と情報学の融合による総合的な文献・情報センターを目指し、2009年4月に現在の名称となりました。

当センターは北白川の閑静な住宅地の中にあり、スペイン僧院を模したロマネスク様式の建物で1930年11月に東方文化学院京都研究所の研究施設として建てられました。2000年には文化庁の「登録有形文化財」に指定されています。



歴史ある当センターは今年3月に耐震改修工事が完了し、図書室はこのたび2階から1階に移転しました。閲覧室の床面積は82㎡、閲覧席数10席、検索用端末2台です。閲覧室には参考図書や影印本四庫全書などが置かれています。内装は落ち着いた煉瓦造り風になっています。



書庫は地下、2層～4層から成り、2層からは吹き抜けになっています。地下には集密書架が置かれ主として雑誌、2～4層は固定書架で漢籍等図書が置かれています。図書は東方文化学院京都研究所の蔵書を元に継続収集してきたもので東洋学関係の文献、ことに中国書が充実しています。現在中国書は34万冊を所蔵しています。

中国書は漢籍（辛亥革命以前）と現代中国書（それ以後）に分けられ、漢籍は伝統的な「経・史・子・集」の四部分類法を基礎に独自に作成した分類を用いて整理し配架されています。

センターの事業として図書室と密接な関係にあるのが、「東洋学文献類目」の編纂・刊行です。これはセンターが受け入れた学術雑誌に掲載された東洋学関連の論文及び単行本を年次ごと分野ごとにまとめ分類し、著者索引を付けたものです。東洋学研究に関する有効な諸情報が網羅され研究者の間で役立っています。

また、全国の図書館職員に漢籍に関する知識と分類の実践を身に付けてもらうために漢籍担当職員講習会（初級・中級）を年に1度当所で行っています。

場 所：東アジア人文情報学研究センター 1階

開室時間：月・金：9:30-12:00、13:00-16:30（受付16:00まで）

休 室 日：土・日・祝、本学創立記念日（6/18）、8/1-15、年末年始（12/26-1/5）、
毎月末日（末日が土・日・祝の場合は次の開室日）、漢籍担当職員講習会
開催中（10、11月各1週間）

連 絡 先：〒606-8265 京都市左京区北白川東小倉町47

TEL: 075-753-6990 FAX: 075-753-6999



大型コレクション紹介

2012年度に図書館機構で購入した大型コレクションについてご紹介します。

The Eighteenth Century Collections Online II (18 世紀英語・英国刊行物データベース)

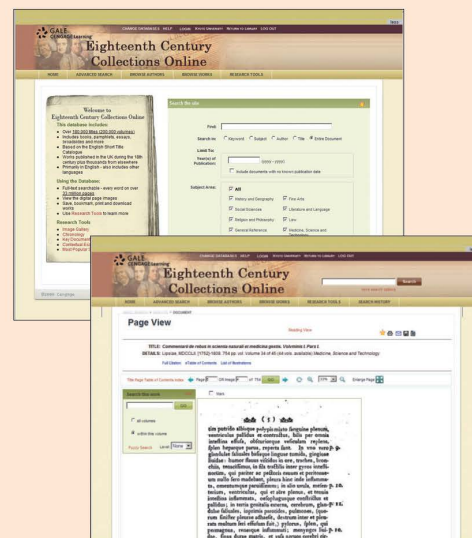
ECCO は、1701 年から 1800 年までに英語もしくは英国で刊行された印刷物をあまねく収録すべく企画された一大コレクションであり、マイクロフィルム版にて「The Eighteenth Century」として企画され現在も刊行中である。

そのうちユニット 1～371(12,985 リール)を収録した全資料のオンライン版フルテキスト・データベースである ECCO I (2003) が、既に京都大学に所蔵されている。

今回、2009 年に発売された ECCO II (1701～1800 年に刊行された約 20 万点 / 4,000 万頁分の資料の補充分) が今回新たに導入された。

☆オンライン版フルテキストデータベース

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/dbj/E.html>



モイヌッディーン・アキール博士(Dr. Moinuddin Aqeel)所蔵 ウルドゥー語文献コレクション

パキスタンを代表するウルドゥー語学・ウルドゥー文学研究者であるモイヌッディーン・アキール博士が収集した蔵書からなるウルドゥー語文献コレクション。ウルドゥー語コレクションとしては、大英図書館所蔵のものについて世界で2番目に大きいものである。

ほとんどはウルドゥー語文献であるが、若干のペルシア語文献・英語文献も含まれる。南アジアを中心とするムスリムの歴史と文化に焦点が当てられており、扱う範囲は歴史・政治・社会・文学・思想・宗教と幅広い。このテーマにおける 19 世紀に出版されたウルドゥー語文献に関しては特に貴重で、世界中のどの図書館でも利用できない稀覯本を多数有する。

☆所蔵先：アジア・アフリカ地域研究研究科アジア図書室

※現在、整理中です。利用が可能になればご案内します。



図書館機構スタンプラリー "Library Walk 2013" を開催しました



京都大学には図書館がいくつあるかご存知でしょうか？附属図書館の他にも、研究科・学部、研究所等の図書館・室などがあり、その数なんと50以上。

図書館機構では、新入生のみなさんにこれらの図書館に慣れ親しんでいただくために、吉田キャンパス内の学部図書館・図書室をめぐり歩く図書館機構スタンプラリー "Library Walk" を開催しました。

平成25年4/2(火)から4/26(金)までの約1か月間に、学部生、大学院生、教職員などあわせて204名の方にご参加いただきました。ゴールの条件は、附属図書館、人間・環境学研究科総合人間学部図書館を含む合計5個以上のスタンプを集めることでしたが、なかには対象の16のすべての図書館・室をまわられた参加者もいらっしゃいました。

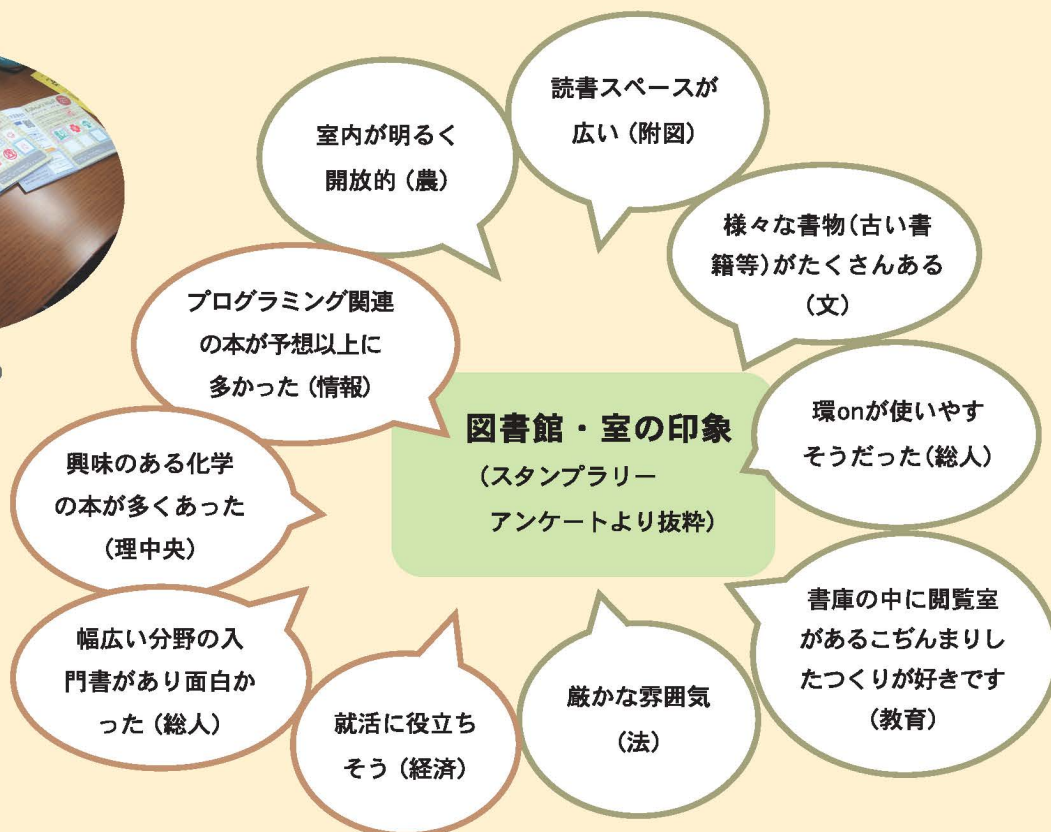
各図書館では、みなさんの多様な学習・研究活動を支援するために、それぞれの対象者や学問分野に応じた資料を収集しています。図書館に行って本棚を眺めながらその蔵書の特徴をつかんでおくと、今後必要な資料を探すときにもきっと役立つことでしょう。また、授業の予習・復習、レポート・論文の準備・執筆などの際に活用できる空間を図書館のなかで探してみてください。

普段は少し敷居が高そうなイメージの図書館に気軽に足を運んでいただいて、それぞれの図書館の持つ雰囲気を感じてもらえる、Library Walkがそのような機会になれば嬉しく思います。

Library Walk は来年4月も開催予定です。今年度参加できなかった皆様も是非参加して、あなたのお気に入りの図書館を見つけてください。



全館制覇した学生の
スタンプシート



平成 25 年度京都大学図書館機構貴重書公開展示 「博物学の世界」開催のお知らせ

図書館機構では「博物学の世界」と題して貴重書の展示会を開催します。

本展示会では、2011(平成 23) 年度から開始した貴重資料修復計画により公開可能となった資料を展示し、本学の所蔵する貴重資料への理解を深めてもらうとともに、貴重資料の修復事業を紹介し、事業の重要性を内外にアピールすることを目的としています。

今回は修復資料のうち、ビュフォンの『博物誌』や日本を訪れたケンペルの旅行記『廻国奇観』をはじめ、16 世紀から 18 世紀の「博物学」をテーマとする資料群および関連資料を展示します。

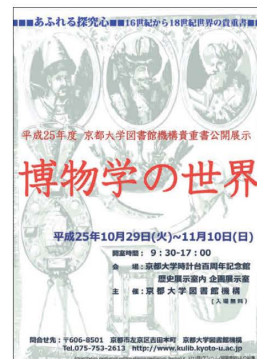
この機会にぜひご覧ください。

日 時 2013 年 10 月 29 日(火)－11 月 10 日(日)

9 時 30 分－17 時 00 分

会 場 百周年時計台記念館 1 階 歴史展示室内 企画展示室

(入場無料)



新サービスの紹介

EDDS

10 月 1 日より **EDDS (Electronic Document Delivery Service)** が試行スタートします！

EDDS とは？

学内の離れたキャンパスにある文献(論文など)を学内の研究室や OSL のパソコン等で読むことができます。**[有料]**

- ・ **公費(運営費のみ)** で文献複写のお支払いができる方に限ります。
- ・ **学内ネットワーク環境下** のパソコン等で読めます。

なお、このサービスのご利用は、ご所属の図書館・室が EDDS を提供していることが必須となります。

まずはご所属の図書館・室へお問い合わせください。

詳細は [図書館機構 HP > 資料の探し方ガイド >

レファレンスガイド > EDDS] をご覧ください。

ほんとに!?

図書館、行かなくていいの(°o°)

離れたキャンパスにある論文もWebで読める!

イー ディー ディー エス

EDDS

Electronic Document Delivery Service

学内文献の取り寄せがスマートに!!

2013年10月 試行サービス開始!

なにが便利なの?

「ほい!論文が、離れたキャンパスの図書館にあって、なかなか読めない...」そんなときは、MyKULINE から文献の取り寄せをリクエストしてください。図書館で論文がスキャンされ、研究室のパソコン等[※]で読めるようになります。**[有料]**。[※]文庫の閲覧は、学内ネットワーク下でのみ可能です。

だれが使えるの?

文献取り寄せの料金を、公費(運営費のみ)で支払える方のみご利用いただけます。ご所属の図書館(室)で、MyKULINEの手続きを行ってください。

詳しくはご利用方法・注意事項は、ウェブサイトをご覧ください。 京都大学 EDDS

京都大学図書館機構 > サービス > 遠隔利用サービス <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

京都大学図書館機構 2013.10

附属図書館

学習サポートデスクがスタートしました
"Learning Support Desk" 1st Oct.~

10月1日(火)から、附属図書館1階に学習サポートデスクを開設しました。

様々な分野の大学院生スタッフが、「文献の探し方は?」「レポートはどうやって書いたらいいの?」など、図書館利用や学習に関するご相談におこたえします。

スタッフ全員、英語・日本語対応可能です。お気軽にお尋ねください!

On October 1st, we started "Learning Support Desk" on the 1st floor of the Main Library.

Graduate student staffs support your learning.

When you have any questions or problems, please feel free to ask us!

■Location 附属図書館 1階 サイバースペース前
1st floor, Cyberspace of the Main Library

■Hours 平日開館中 Weekdays 13:00-19:00

詳細は[図書館機構ホームページ>学習・研究サポート>学習サポートデスク]をご覧ください。

For more information, please refer to

"Kyoto University Library Network HP>Guide & Course>Learning Support Desk".



理学部中央図書室

開室時間拡大のお知らせ

理学部中央図書室では、平成25年10月1日より開室時間を延長致しました。

5時間目終了後も貸出等が可能になりました。

☆どうぞご利用ください☆

■開室時間:平日9時~18時50分まで

■授業期間および試験期間中のみの延長です。
夏季休業等の長期休業期間中の開室時間は、平日9時~17時です。

■自由閲覧室は、
従来通り20時まで
ご利用頂けます。

【問い合わせ先】

理学部中央図書室

TEL:075-753-3622



図書館機構

北部構内と吉田南構内の
図書館間で
図書の取り寄せが可能に

学内の離れた図書館から図書を取り寄せる学内デリバリーサービス*のサービス範囲が拡大されました。

北部構内の一部と吉田南構内の図書館の間でも取り寄せができます。

*原則ご所属の図書館・室に取り寄せを行うサービスです。

詳細は、

[京都大学図書館機構ホームページ>サービス>サービス案内>相互利用サービス-資料を取り寄せる(学内から)]をご覧ください。